

## P C Bの漏洩の件

平成17年11月21日  
日本環境安全事業株式会社  
豊田事業所 (0565-25-3110)

### 1 . 漏洩の状況

11月21日午前2時頃、蒸留エリアの第1洗浄液蒸留塔の塔底ポンプの圧力ゲージの取り付け部が破損し、そこから、P C B入りの洗浄液が防油堤内で漏洩していることを監視員が発見しました。(油量ペール缶10杯、200L程度)

なお、火災報知器は、微粒子を感知するタイプなので、火災ではありませんが2時7分に作動しました。

### 2 . その後の対応

当該ポンプは漏洩と同時にインターロックで自動停止しました。直ちに手動弁を閉止し、蒸留塔も即刻停止作業を実施しました。防油堤内の漏洩液の回収、拭き取り作業を実施し、午前5時頃完了。その後、洗浄液で清浄化作業を実施し午前8時頃完了。現在、安全な停止状態に移行しています。

### 3 . 地域への影響

密閉した施設内にある防油堤内での漏洩であり、直ちに汲み取りして全量回収しましたが、一般管理区域を対象とした換気排気(第6系統 1)のオンラインモニタリングがP C B = 210  $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ を表示しました。(排出基準100  $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ 、管理目標値10  $\mu\text{g}/\text{Nm}^3$ )  
なお、異常時には活性炭排気処理装置を装備する換気系統(第5系統 2)に切り替えることになっていましたが、この切替作業が午前6時30分頃となり、約4時間30分に亘り、排出基準を超えていた可能性があります。

蒸留エリアの換気(第5系統)ではなく、一般管理区域の換気排気(第6系統)から検出された原因は調査中です。

また、現在排気ガラリーでの排気サンプリングを実施し、公定法でのP C B排気濃度を分析中です。

1 : 工程分離水処理室、P C B オンラインモニタリング室、ブラインチラー室、分析室、解体/洗浄室天井裏の排気

2 : トランス・コンデンサー・抜油解体エリア、蒸留エリア、タンクエリア、試験室、保管倉庫、受入保管エリアの排気